

医療機関・薬局等での計算イメージ（1円単位となる場合）

- 配慮措置の適用がある場合、**窓口負担額の計算は1円単位で行い、患者から徴収することとなります。**

(※) 配慮措置は高額療養費の仕組みで行われます。

(参考) 現役並みIの高額療養費上限額 80,100円 + (医療費 - 267,000円) × 1%

- そのため、計算方法②について、「**1割負担**」の部分を1円単位で計算する必要があります。

計算方法（再掲）

2割負担の方については、診療日ごとに

- ① **その月の外来の診療報酬点数の合計を計算し**
- ② **配慮措置の対象になる場合**（1か月の外来の診療報酬点数の合計が3,000点～15,000点）、**配慮措置によるその月の窓口負担上限額（1割負担+3,000円）を計算した上で**
- ③ **前回の診療までの窓口負担額の合計と②の差額が、その日に徴収する窓口負担額**になります

《診療日ごとに必ず計算してください》

○月	その日の診療	①○月の外来の診療報酬点数(合計)	②○月の窓口負担の上限額	③その日に徴収する窓口負担額
A日	2,500点 (25,000円)	2,500点 (25,000円)	—	5,000円
B日	1,003点 (10,030円)	3,503点 (35,030円)	6,503円 ※配慮措置 1割負担+3,000円	1,503円
C日	1,014点 (10,140円)	4,517点 (45,170円)	7,517円 ※配慮措置 1割負担+3,000円	1,014円
D日	11,000点 (110,000円)	15,517点 (155,170円)	18,000円 ※外来上限額	10,483円

B日の計算方法

- ①同日時点のその月の外来の診療報酬点数は、
2,500点 + 1,003点 = **3,503点**
- ②配慮措置対象なので、配慮措置による上限額は、1割負担(3,503円) + 3,000円 = **6,503円**
- ③その日に徴収する窓口負担額は、
6,503円 - 5,000円 = **1,503円**

C日の計算方法

- ①同日時点のその月の外来の診療報酬点数は、
3,503点 + 1,014点 = **4,517点**
- ②配慮措置対象なので、配慮措置による上限額は、1割負担(4,517円) + 3,000円 = **7,517円**
- ③その日に徴収する窓口負担額は、
7,517円 - 6,503円 = **1,014円**

医療機関・薬局等での計算イメージ(1円単位)

診療日	診療日ごとの 医療費の額= ①	①の累計額= ②	②に対して 負担する 上限額= ③	診療日ごとに 実際に負担する 医療費の額= ④	④の累計額= ⑤
A日	25,000	25,000	5,000	5,000	5,000 ※1
B日	10,030	35,030	6,503	1,503	6,503 ※2
C日	10,140	45,170	7,517	1,014	7,517
D日 (最終診療日)	110,000	155,170	18,000	10,483	18,000 ※3
—	155,170	—	—	18,000	—

診療日ごとに個別にその医療費に対する負担上限額を計算するのではなく、まずは歴月における当該診療日までの医療費の累計額②に対する負担上限額③を計算した上で、そこから当該診療日前までの実際の負担額の累計額⑤を控除することで、当該診療日における実際の負担額を計算するものです(歴月における最初の診療日の負担上限額の計算については除く)。

※1

当該日については最初の診療日であることから、まずは、②について負担上限額を求めることになります。当該日の医療費が30,000円未満であるので、この場合には、2割負担額である5,000円(=25,000円×0.2)そのままが負担上限額になります。ただ、③で設定したExcelの計算式は $\text{<=MIN}((C3*0.2),6000+(C3-30000)*0.1)\text{>}$ としました。(C3*0.2)が上限値になります。

※2

これら当該日についてはいずれも②が30,000円以上150,000円以下の範囲内であることから「配慮措置」が適用され、 $\text{<6,000円+(総医療費-30,000)×0.1>}$ の計算式をもって各日の負担上限額を求めることになります。

※3

当該日は歴月の最終診療日になっていますので、最終的な②が150,000円超となっていることから、この場合の負担上限額は18,000円となります。従って、歴月における負担上限額も18,000円になります。

B日からD日までについては、③で設定したExcelの計算式は $\text{<=MIN}(18000,(6000+(C4-30000)*0.1))\text{>}$ としました。いずれも18,000円を上限値としています。